

国語科学習指導案

学 級：2年1組 41人
場 所：オープンスペース
指導者：教諭 小正 千洋

1 単元名 登場人物の言動の意味を伝え合おう！（教材名「走れメロス」）

2 単元で育成する資質・能力

本単元では、場面ごとの様々な描写を手がかりに、メロス、セリヌンティウス、ディオニスそれぞれの言動の意味について考えさせ、内容を解釈させたい。その際、生徒が疑問に思ったことを基に「わたしの学習課題」として設定させる。課題解決にあたり、他者との関わりの中で伝え合う力を高めさせ、思考力や想像力を向上させたい。

本教材の「走れメロス」は、太宰治による本格的な近代小説である。情景描写が巧みで、登場人物の心情が直接表現されていたり、暗示されていたりする。命がけで友との約束を果たしたメロスは、一度は友を疑い、裏切ろうとする。友を信じて身代わりになったセリヌンティウスも、一度だけ友を疑う。人の心を信じられないディオニスは、最後に改心する。メロスに加え二人の人物を視点人物とすることで、作品を多面的に捉えることができる。

以上のことを踏まえ、登場人物の関係を捉えるにはどのような方法があるのか既習事項から確認し、本単元の学習にはどのような方法が適切なのか判断する学習を設定する。さらに、三人の登場人物の言動について、本文を引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする言語活動を通して、作品内容を自分なりに解釈しようとする態度を育てたい。

3 評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-----------------------------------|---|--|
| ① 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。(2)イ) | ① 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。(C(1)ア) ② 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。(C(1)イ) | ① 積極的に登場人物の言動の意味などについて考え、学習課題に沿って考えたことを語り合おうとしている。 |

4 指導と評価の計画

| 時間 | 学 習 活 動 | 必 要 性 | 自 律 性 | 関 係 性 | 有 用 性 | 評価方法 |
|-----------|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------------------|
| 1 | 1 学習のねらいと進め方をつかみ、 学習の見通しをもつ。 2 本文を通読し、話の展開や内容の 大体をつかむ。 | ○ | | | | 思①：ノートプリント |
| 2 | 3 班になり、メロス、セリヌンティ ウス、ディオニスの中から各自が担 当する登場人物を決める。 4 登場人物における言動に関する疑 問や感想を書く。 | | ○ | ○ | | 思①：ノートプリント |
| 3 (本時) | 1 前時に書いた疑問を検討し、「わ たしの学習課題」を設定する。 | ○ | ○ | | | 思①：ノートプリント 主①：行動観察 |
| 4 | 1 「わたしの学習課題」を踏まえ、 担当する登場人物の言動を書き出し、 そこから考えた言動の意味をノート プリントに記入する。 | | ○ | | | 思①：ノートプリント |
| 5 | 2 登場人物ごとに作成した、3枚の ワークシートを模造紙に貼付する。 3 3人の登場人物の言動がどのよう に関係しているのかについて、言動 の意味を踏まえながら模造紙を整理 する。 | | | ○ | ○ | 知①：模造紙 主①：行動観察 |
| 6 | 1 3人の登場人物の関係が、話の展 開においてどのような意味をもつ のかについてノートプリントに文章で まとめる。 2 本文を読み直し、単元で学習した ことについて確認する。 | | | ○ | ○ | 思②：ノートプリント |

5 本時の実際（3／6）

(1) 学習目標

- 登場人物の言動が、話の展開などにどのように関わっているかを考えることができる。 [思考力, 判断力, 表現力] (C(1)ア)
- 積極的に登場人物の言動の意味などについて考え、学習課題に沿って考えたことを語り合うために「わたしの学習課題」を考えようとしている。

「学びに向かう力, 人間性等」

(2) 研究の取組

主体的に学習に取り組む「わたしの学習課題」の設定【必要性】

(3) 展開

| 過程 | 時間 | 形態 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 研究の取組 |
|----|-----|--------|--------------------------------|---|--|
| 導入 | 5分 | 一斉 | 1 前時の学習を振り返り、本時の見通しをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> 見通しをもたせるために、リフレクションシートとノートプリントを確認させる。 | 自律性 何をどのように学んでいるか確認させる。 必要性 登場人物の言動の意味を理解するに当たり、どのような課題があるのか個々に実感させる。 |
| | 5分 | 一斉 | 2 本時の学習目標を確認する。 | | |
| 展開 | 20分 | 班 | 3 疑問のそれぞれがどのような疑問なのかを検討し、分類する。 | <ul style="list-style-type: none"> 分類する観点 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> A 読めば分かる疑問 B 考えることで読みが深まる疑問 C 考えても答えが出ない疑問 </div> | 必要性 個々の課題から単元の学びを立ち上げる。 |
| | 10分 | 個・班 | 4 分類した疑問Bを参考に「わたしの学習課題」を設定する。 | <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の言動の意味を捉えるための疑問になっているか互いに確認させ、アドバイスさせる。 | |
| 終末 | 10分 | 個・班・一斉 | 5 本時の学習を振り返り、次時の学習を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を通して考えたことを班で確認させ、リフレクションシートに記述させる。 次時の学習で取り組みたいことをリフレクションシートにメモさせる。 | 自律性 アドバイスや疑問を基に、本時の学びについて気付いたことをリフレクションシートに記述させる。 自律性 次時に解決したい課題を明確にする。 |